



石戸御殿への来訪者達

石戸領旗本 牧野讃岐守康成(牧野家二代) 慶長四(1599)没

三河長篠合戦等で活躍し、本多正信・大久保忠隣・阿部正次とともに家康の側近として勢力を伸ばす。天正十八年(1590)武州足立郡石戸で5,000石を与えられる。

石戸藩大名 牧野信成(牧野家三代) 慶安三(1650)没

二大將軍秀忠に近侍し、後に家光に付属され、寛永十年(1633)11,000石の大名(石戸藩初代藩主)となる。正保元年(1644)、下総の国へ22600石で転封。信成の幕府での職務は、酒井忠世等とともに寛永十二年(1635)には「金銀納方」を管掌し、後の「留守居」に当たる

「牧野系譜」の三代(信成)の条 から読み取れること

東照宮 台徳院殿 大猷院殿御鷹野忍・川越江被為成節者、

度々在所石戸被為 入、依之御殿建之(以下原文割書)

伝記曰、その節佐渡守・八太夫御目見毎度時服頂戴也、又曰、或

時石戸御昼休ニテ御機嫌悪鋪、其節 御前ニ内藤若狭守・

松平右衛門太夫伺公ノ処ニ信成被 召出、親讃岐守儀者何モニ

抽御奉公申上者也、其者ノ悴ナルハ別テ不便ニ被 思召由、其

上ニ讃岐守儀ヲ様々被仰出ナリ、夫ヨリハ御機嫌直リ候ト度々

噂被申候

大河ドラマ
「真田丸」近藤
正臣 好演

来訪者

- ・ 東照宮(徳川家康) 台徳院殿(秀忠) 大猷院殿(家光)
- ・ 佐渡守(本多正信 1616 没) 正信は老中、家康より我が友と慕われていた側近中の側近 元鷹匠であり、相模国玉縄藩主
- ・ 八太夫(本多正純 1637 没) 本多正信の長男
- ・ であり、江戸幕府の老中。宇都宮藩主。
- ・ 内藤若狭守(内藤清政 1623 没) 安房勝山藩初代藩主
- ・ 松平右衛門太夫(松平正綱 1648 没) 大名、相模国玉縄藩初代藩主。大河内松平宗家初代。

世界最長の並木道である日光杉並木の寄進者

武蔵志「享和2(1802)年以前の地誌」から読み取れること

御殿跡 東照神公ノ御茶屋跡ナリ 石戸天神山城跡東南少斗隔 今稲荷ノ社地ニ在 近代御茶屋牧野氏ノ祝(税か)所ト成 久敷続テ夫モ今ハ断絶 稲荷社ノミ残 牧野氏 祭祀料出テ無怠慢

鴻巣御殿

一里塚(中山道)



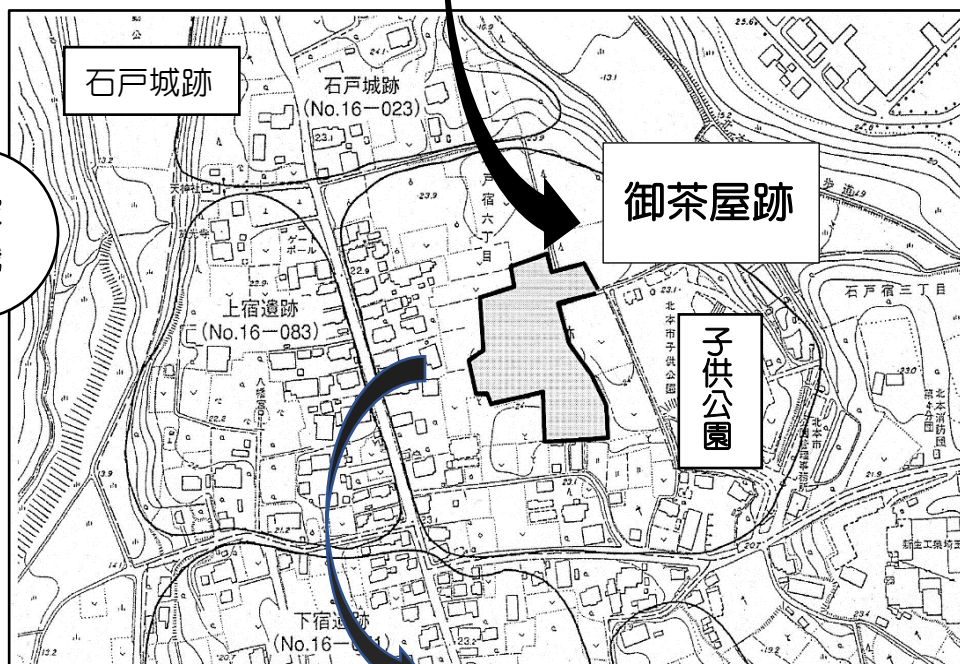
正保国絵図(1644~1647)江戸幕府作成

石戸御茶屋

一里塚 鉄砲宿辺カ

一里塚 芭蕉句碑辺

御殿 認識



石戸城跡

御茶屋跡

子供公園



不規則な地割(掘跡カ)

道路

御茶屋御殿付近 地引図(明治初期)

宇都宮のつり天井事件で改易



現存する御殿稲荷 御殿造の社 要調査(16世紀末カ)